



## 葛卷町養護老人ホーム 「葛葉荘」

施工地／岩手県岩手郡葛巻町葛巻  
第17地割39番地3  
竣工年月／平成29年7月  
敷地面積／8,980.95m<sup>2</sup>  
延床面積／本館棟：2,693.75m<sup>2</sup>  
ボイラー棟：87.84m<sup>2</sup>  
車庫倉庫棟：86.12m<sup>2</sup>  
構造／本館棟：木造平屋建  
ボイラー棟：鉄骨造平屋建  
車庫倉庫棟：木造平屋建

## ふるさとにいだかれるやすらぎの施設

昭和48年に建設された初代「葛葉荘」は8畳1室に4人が居住する部屋が中心で、狭隘なうえ老朽化が進んでおりました。この度、築44年を経て移転改築の運びとなりました。この間生活環境の改善の意識が高まり、町議会では先人に敬意の念をもって時代状況に合わせた養護老人ホームを建設するべく、全会一致で改築計画案を可決し、最新の施設サービスと高齢者福祉サービスの理念を導入した本施設を建設するに至りました。

本施設は葛巻森林組合様の協力を得て、全館でふんだんに地元葛巻町産のカラマツ材を活用し、館内はいたるところで木材のぬくもりに触れることができます。ふるさとの地に植えられて育った木々たちが、ふるさとで暮らした人々を迎え入れ、その晩年の暮らしを温かく包みこんでいます。それはあたかも日常からはなれた心地よい空間に居住する感覚を覚えます。これにより入居者様の生活環境が改善され、やすらぎに満ちた快適な生活空間とする設計となりました。

### 地図・平面図



## 良好な生活環境の向上

本施設は徹底したバリアフリー化を図った設計をいたしました。館外の車寄せから館内の各諸室に至るまで段差を解消し、随所に手すりを設置しております。すべての居室をつなぐ廊下は車椅子でも十分に余裕をもってすれ違える幅を確保しております。また各居室棟をつなぐ供用空間の中央廊下は天井を高くしてハイサイドライトの光が降り注ぐ明るい空間といたしました。各居室は窓を12ミリの複層ガラスとし、さらに内窓をつけ二重窓にして断熱性能を向上させて寒さが厳しい当地方においても良好な住環境と環境負荷の軽減させております。

## プライバシーの重視

今回の移転新築を機に各居室は44室を1人1室の個室にして、6室をコネクティングルームにし3組の夫婦部屋として利用できるようにしております。入居者様のプライバシーの保護を図り、居室棟と食堂・ホール、集会所の共同空間とはユニットを分節させてプライバシーの保護と共同生活のバランスを重視しました。入居者様同士のコミュニケーションの場や入居者様とご家族様とのだんらんの場にも落ち着いた空間が必要あります。この考えから食堂・ホールと集会室とは別に、独立した2か所の談話室も設けております。

## 安全安心な施設として

本施設は入居者様の利便性と安全性の確保の観点から各棟をつなぐ動線は極力単純化いたしました。ユニットごとに床面や案内表示をイメージカラー分けし館内の移動を容易にしております。また入居棟ごとに避難用スロープを設け自家発電設備を備えるなど災害時対応にも万全を期して設計いたしました。



各入居棟ごとの非常口と避難スロープ



ユニットごとのイメージカラー



段差が解消されているエントランスホール



手すりと余裕の幅がある居室棟の廊下



ハイサイドライトの明かりがある廊下の天井



車椅子とストレッチャーが進入できる個室



集いの場となる食堂・ホールと集会室  
竣工・落成を祝う会